

# ARCADIA

OKAZAKI CITY MUSEUM NEWS



歌川広重〈江戸高名会亭 芝神明社内車轍楼〉（東京都江戸東京博物館蔵）

# QuizKnock と巡る 江戸東京 博物館展

会期 令和6年7月13日(土)～9月23日(月・祝)



1  
いう演出で、まるで江戸時代にタイムスリップしたような感覚を楽しむことができます。再び開館した際にはぜひ訪ねてみてください。

## Q2 どんな展覧会なの？

まさに、江戸東京博物館の「江戸ゾーン」が岡崎にやってくる！という展覧会です。「江戸ゾーン」からセレクトされた、浮世絵などの絵画、歴史資料、刀剣、体験模型・再現模型など多岐にわたる作品・資料を通じて、江戸のまちづくりや経済と文化、人々の暮らしぶりを紹介します。目で見て、時には触れて、江戸時代という時代が一体どういう時代だったのかを体感できる展示です。

をよりリアルに体験できるところです。「大名駕籠」・「棒手振り」・「肥桶」・「寿司屋台」・「そば屋台」といった、江戸博でも人気の模型が登場します。なかでも注目なのは「大名駕籠」。駕籠の中に乗ることができます。江戸時代、大名には参勤交代が義務付けられていて、藩主はこの駕籠に乗って、自国と江戸を行き来していました。当時のお殿様はどんな風に座っていたのでしょうか。体育座り？正座？江戸から遠い藩の藩主は何日も駕籠に揺られて、大変だったのでしょうか。もし自分が藩主だったら…。実際に乗って、参勤交代の大名行列に思いを馳せてみてください。

江戸時代という泰平の世の礎を築いた徳川家康生誕の地で、活気あふれる江戸の歴史と文化を紹介します。この夏は、江戸の世界へ遊びにいきませんか？みなさまが持っているであろう疑問に答える形で「江戸博展」の魅力をご紹介します。

## Q1 江戸東京博物館ってどんなところ？

「えいどはく」の愛称で親しまれる江戸東京博物館は、江戸東京の歴史と文化を伝え、未来の都市を考える場として平成五年（一九九三）に東京都墨田区の両国に開館しました。現在は大規模改修工事のため休館中です。常設展示には「江戸ゾーン」と「東京ゾーン」があり、特に「江戸ゾーン」は日本橋を渡って展示室内へと入ると

ちなみに、表紙画像の歌川広重《江戸高名会亭盡 芝神明社内車轍楼》は、前期（七月十三日から八月十八日）に展示されます。画面右側には芝神明社があり、奥には神明造の本殿があります。左側の建物が車轍楼です。広重の江戸高名会亭盡は、江戸の有名な料理屋を取り上げた全三十図のシリーズもので、現在のグルメガイドといったところですが、この他にも浮世絵が複数点出品予定ですので、お楽しみに。

## Q3 展覧会のみどころは？

当館を皮切りに、静岡市歴史博物館へ巡回したのち、他の館でも開催を予定しています。体験・再現模型を通じて、江戸時代

## Q4 担当のイチオシは？

担当の推しは「迷子札」です。迷子札とは、こどもの名前や親の名前、居住地（長屋）を記した札をこどもの腰に



体験模型「大名駕籠」



《迷子札》



付けて、迷子になった際にはそれを手がかりにするというものです。当時、迷子や捨て子があった場合には、それを発見した町が、親が見つかるまでの間、保護・養育するという決まりがありました。人口が集中した江戸の町では捨て子・迷子は社会問題のひとつでした。

この迷子札、親の名前や居住地が詳しく書いてあるものは良いですが、名前しか書いていないものもあり、手がかかりとして機能するのだろうかと思わず不思議にも思います。また、文字面の裏にはこどもの生まれた年の干支の動物の絵があります。迷子札は、江戸時代らしいおしゃれさがあります。この札を腰からさげて、江戸の町を元気に駆け回ることができる姿が目に見えそうです。





**Q5** QuizKnockとどんな風にコラボするの？

東大発の知識集団・QuizKnockは、「楽しいから始まる学び」をコンセプトに、何かを「知る」きっかけとなるような記事や動画を配信しており、テレビ番組やYouTubeで活躍しています。

メンバーの伊沢拓司さん、鶴崎修功さん、山本祥彰さんが、江戸の住民に扮して会場の各所のパネルに登場。独自の目線で注目した資料を解説してくれます。また、公式図録のなかでは展覧会の関連コラムや対談、ワークショップが楽しめます。

なんと、山本祥彰さんは岡崎に！当館での展覧会を観覧し、山本さんが注目した資料の解説をしていただきます。山本さん来館の様子、解説動画は会場内でご覧いただけます。ぜひお見逃しなく！



QuizKnock 山本祥彰さん

**Q6** 岡崎にまつわるものは展示されないの？

特別に岡崎市の文化財を紹介するコーナーを設けることになりました。

「岡崎から江戸へ」と題して、泰平の世の基礎を築いた徳川家康と東照宮信仰にまつわる歴史資料を数点出品します。そのうちのひとつ、法蔵寺所蔵の矢田姫使用化粧道具を紹介します。本資料は、松平広忠の娘で家康の異母妹にあたる矢田姫が使用していたと伝わります。手箱の中に、蓬萊鏡、鏡立、櫛、筆、白粉入などが入っています。梨地に葵紋と唐草が施されており、華やかでかわいらしい化粧道具です。この機会にぜひご覧ください。



矢田姫使用化粧道具 (法蔵寺)

とにかく江戸の世界を五感で楽しんでほしい。歴史の展示は敷居が高いと思っている人にとって、そうではないと思えるきっかけになってほしい。時代劇を見たことがない子どもたちにも、江戸時代ってこんな時代だったんだ、と少しでもリアルに感じてもらいたい。そんな思いで鋭意準備中です。机の上で学ぶだけではわからない江戸の姿がここにあります。

(山下 葵)

## EVENT INFORMATION

### 江戸博展を楽しむイベントが盛りだくさん！

#### イベント

##### グレート家康公「葵」武将隊 演武&殿ツアー 【事前申込制】

**日時** 9月14日(土曜日) 午後2時~3時  
**会場** 当館1階セミナールーム(演武)、1階展示室(殿ツアー)  
**参加費** 無料 ※ただし、当日の観覧チケットが必要です。  
**定員** 50人  
**申込** 8月23日(金曜日)必着

———— ネット申込はこちら▶



#### スペシャルギャラリートーク

##### 江戸博学芸員によるスペシャルギャラリートーク (申込不要)

**講師** 東京都江戸東京博物館 学芸員 朴美姫氏・杉山哲司氏  
**日時** 8月24日(土曜日) 第1回:午前11時~11時30分  
第2回:午後2時~2時30分  
**会場** 当館1階展示室  
(開始時刻までに展示室入り口へお集まりください。)  
**参加費** 無料 ※ただし、当日の観覧チケットが必要です。

#### ワークショップ

##### 「歌舞伎の音 鳴物体験」【事前申込制】

**講師** 東京都江戸東京博物館 学芸員 平戸杜飛氏・津田絃子氏  
**日時** 8月25日(日曜日)  
第1回:午前11時~12時 第2回:午後2時~3時  
**会場** 当館1階セミナールーム  
**参加費** 無料 **定員** 各回 20名  
**申込** 7月31日(水)必着

———— ネット申込はこちら▶



#### 講演会

##### 「家康がみた江戸の城と町」【事前申込制】

**講師** 東京都江戸東京博物館分館 江戸東京たてもの園学芸員 齋藤慎一氏  
**日時** 9月1日(日曜日) 午後2時~3時30分  
**会場** 当館1階セミナールーム  
**参加費** 無料 **定員** 50名  
**申込** 7月31日(水)必着

———— ネット申込はこちら▶



ギャラリートーク

展覧会担当者が見どころを解説！(申込不要)

**日時** 7月20日(土曜日)、9月5日(木曜日)  
ともに午後2時～3時

**講師** 当館学芸員

**会場** 当館1階展示室  
(開始時刻までに展示室入り口へお集まりください。)

**参加費** 無料 ※ただし、当日の観覧チケットが必要です。



申込方法

- ・あいち電子申請(ネット申込)は当館HPから各イベントのQRコードもご参照ください。
- ・はがきでの申し込み  
はがき裏面に①参加を希望するイベント名②参加者全員の郵便番号・住所・氏名・年齢(学年)・電話番号を記入の上、お申し込みください。

※参加者1名につき1応募(はがきまたは電子申請)。  
※1度の申込みは4人まで。申込者以外の参加不可。  
※1枚のはがきで複数のイベントに申込できますが、各申込締切には注意してください。

申込先: 〒444-0002 岡崎市高隆寺町峠1  
岡崎中央総合公園内  
岡崎市美術博物館 「江戸博展」イベント係  
申込締切:各イベントの締切をご確認ください。

こども向けイベントも開催決定！

ギャラリートーク

こどものためのギャラリートーク ～展覧会をもっとわかりやすく解説！～(申込不要)

ワークシートを使いながら、展示のみどころを紹介します。  
ただ展覧会を見てもわからない…、いつものギャラリートークじゃ難しい…、もっと気軽に質問したい…。  
そんな児童・生徒のみなさんご参加をお待ちしております。

**日時** 8月1日(木曜日)、9月7日(土曜日)ともに午後2時～3時

**講師** 当館学芸員

**会場** 当館1階展示室 (開始時刻までに展示室入り口へお集まりください。)

**対象** 中学生以下 ※高校生以上の方でもご参加いただけます。

**参加費** 無料 ※ただし、当日の観覧チケットが必要です。



3



こども向けイベントの詳細はこちらをチェック

ワークシート

こども向けワークシートで、江戸の歴史を楽しく学ぼう！

**日時** 展覧会開催中随時

**場所** 当館1階展示室内

展示室のうち5つの展示資料では、ワークシートを使って楽しく学ぶことができます。

いつもはなんとなく見るだけになってしまうものも、ワークシートを使ってじっくりと見ることができます。

こども向けですが、もちろん大人の方もご参加いただけます。

親子でいっしょに楽しむのもオススメです。

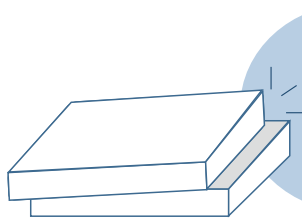


※ワークシートの内容は予告なく変更になることがあります



挿絵：《十二ヶ月年中江戸風俗》より抜粋





# 暮らしの道具箱 VII

## 掛図

伊藤 久美子



初等科テホン掛図 第一学年用  
文部省 昭和 16 (1941) 年

新年度も三か月が過ぎ、小学校では一学期が終わる頃です。新しい学校生活には慣れたでしょうか。今回は学校の教材、掛図を紹介します。

学校の教室で、黒板や壁に掛けて授業に用いた大判の絵図や表などのことを掛図（教育掛図）と言います。クラスでの一斉授業に用いる視覚教材として普及しました。明治になって学校教育の始まりにあたり、文部省は欧米の学校教育を参考に新しい教材や教具を採り入れました。その代表的なものが掛図です。

学制公布の翌年、明治六（一八七三）年



問題  
『弟がえんがわにいと、おとうさんがげたをはいて庭へいらっしやいました。弟がえんがわに立っておとうさんとらぶと、ちょうど高さが同じでした。えんがわの高さは五十四糎、弟のせいの高さは百十七糎、おとうさんのげたの高さは五糎です。おとうさんのせいの高さは何糎あるでしょう。』

新制小学算術教育掛図 第三学年（下）  
「たけくらべ（其一）」 昭和 22 年度以降

に米国の初等教育用のチャート（図表やグラフ）をもとに日本初の掛図が製作され、改版を重ねながら全国の小学校で使用されるようになりました。当時の教科書不足を補う役割もありました。そして、国定教科書の時代（明治三七年～昭和二年）には、数多くの掛図が文部省から編纂・発行され、掛図は教師用の図書教材として、児童に示すものとされました。戦時下、昭和一六（一九四二）年からの国民学校時代には掛図は視覚教材としてとても重要視されて国民科修身・国語（第一、二学年のみ）、理科算数、芸能科音楽・図画・工作・裁縫などの教科での掛図も作られました。



教師手づくりの掛図  
掛図裏面を利用している

掛図は使用するたびに破れたりして損傷が進み、また、大型で保管しにくいこともあって使用されなくなったものは廃棄されやすく、普及した教材でありながらも多くは残っていません。掲載の『初等科テホン掛図』は縦八五cm、横六七cm、表紙含めて全一八枚からなり、重さ一・三五kgです。

戦後も、教科ごとに様々な掛図が民間の教科書会社などから作られました。しかし、やがてスライドやOHP（オーバーヘッドプロジェクター）、テレビ、ビデオといった映像機器の開発と教育現場への導入により、理科の標本や地図類を除いて視覚教材は掛図から新しいメディアへとかわっていききました。

もつとも、新しいメディアとされたスライドやOHP、ビデオもデジタル化が進んだ現代では過去の遺物、消えゆくモノとなってしまうました。教育現場には電子黒板が導入されるようになり、大型ディスプレイに表示して利用する教材用映像コンテンツのことを「デジタル掛図」とも呼ぶようになります。



## ワークショップは来場者のクリエイティブが アウトプットされる場所になり得るか

### 企画展「ひらいて、むすんで」のワークショップ所感

5

今泉 岳大

今期春に開催した企画展「ひらいて、むすんで」(令和六年四月十三日ー六月十六日)では、関連事業として大別して二種類のワークショップを行った。ワークショップ1と題した四つのワークショップは展示作品に関連したもので、その内の三つは企画展作家を招き作家と一緒に制作を行うものであった。ワークショップ2の「みんなで作る!毛糸をむすんでつなぐインスタレーション」は、本展のタイトルである「ひらいて、むすんで」の「むすぶ」という要素と、展示の中で布や糸を扱う作品があったことから、館内の建築躯体に参加者が糸を結んで増殖させてゆくというインスタレーションを行うものであった。



5月5日「破ったり、つなげたり描くことの不思議さを体験しよう」with 三科琢美



6月15日「出張手芸部! in 岡崎」with 宮田明日鹿

これらのワークショップは事前予約不要で無料とし、ワークショップ2については会期中随時参加できるものとした。この意図は本展の「ひらいて、むすんで」というテーマに紐づけ、より多くの来場者に展覧会関連事業を「ひらく」ものとして、気軽に参加でき、且つ短時間で完結できるように心理的なハードルを下げたためであった。また、これまで当館で開催してきた近年のワークショップが事前予約制で参加費を徴収し、時間をかけて作品を制作するものであったことに対し、より多様で柔軟な在り方を模索する試みでもあった。

ワークショップ1は普段裏方として表に出ない学芸員はじめ館職員が運営を行い、参加者と顔を突き合わせてコミュニケーションを取る機会となった。何気ない会話から、企画展へ来た動機や感想など、アンケートでは掬い取れない意見を聞くことができた。中には作品の感想を熱心に話す方や、制作方法の詳細について質問する方がおり、展覧会の鑑賞がインプットである一方で、その経験について話すことでアウトプットを行う場として機能したように感じた。それは、ミュージアムとその利用者という画一的な関係を解きほぐす第三の場所となったとも言えるだろう。

ワークショップ2は管理上チケット販売の受付近くで糸を提供し、参加者が自由に結んでゆくものであったが、インスタレーション全体が荒れてゆくことを懸念した企画者の想いとは裏腹に、全体的に美しく増殖するものとなった。美術作品には、人のクリエイティブ



会期中随時開催「みんなで作る!毛糸をむすんでつなぐインスタレーション」

ビティを刺激し、自分でも何かやってみようと思わせる機能がある。その後実際に美術作品の制作に取り組むことはなくとも、作り手の視点に同期し、そこから自分で考えてみるという経験をするのである。参加者が次々に継ぎ足してゆくこのインスタレーションが美的に展開したのは、作品が刺激したクリエイティブの質によるものであったのかもしれない。

当館は教育普及活動の指針を模索している。その中で、本展のワークショップで見出せた良い点と、いくつかの反省点を踏まえて今後に活かしたい。

## 伊東忠太設計 志賀重昂墓 昭和五年（一九三〇）竣工

酒井 明日香



志賀重昂墓（2024年6月筆者撮影）

建築家の伊東忠太（一八六七—一九五四）が、今年で没後七〇年の節目を迎えます。伊東は一八九二年に帝国大学工科大学造家学科を卒業した、日本初の建築史研究者です。また多くの建築を設計し、西洋建築の吸収に注力していた当時の建築界の中で、中国・インドの意匠や妖怪を取り入れた独特のデザインが、一番の特徴です。その代表作が東京の築地本願寺（一九三四年竣工）です。数々の功績を称えられ、一九四三年に伊東は建築家として初めて文化勲章を受章します。あまり知られていませんが、実は伊東忠太が設計した作品が岡崎にあります。東公園内にある、志賀重昂の墓と世尊寺の厨子です。また実現はしませんでした。同じく世尊寺の釈迦堂も当初計画では伊東が設計する予定で、東京大学建築学科に図面が残っています。志賀重昂墓の墓石の形は、現代の一般的な墓石とは異なります。下部が

ドーム状で上部に相輪を乗せる形は、ストウパーを模しています。ストウパーは仏舎利（釈迦の遺骨）を納めるもので、インドを起源とし、中国や日本では寺院の塔へと展開します。伊東はいくつか墓を設計していますが、その中でも相輪の下に方形の屋根を持たない志賀重昂墓は、最初のインドのストウパーにより近い形と言えます。

現在墓がある場所は、元々は世尊寺の境内でした。世尊寺は、岡崎出身の地理学者である志賀重昂（一八六三—一九二七）が発願した寺院です。志賀は明治の大ベストセラーとなった地理学書『日本風景論』を著し、世界各地を調査しました。その過程で収集した品々を岡崎市に寄附するにあたり、世尊寺の建立を発願します。しかし志賀半ばで志賀は逝去、有志が志賀の後を継いで世尊寺が開かれました。世尊寺は現在の東公園内に位置しますが、これとして計画されていたものが、途中の計画変更により都市公園になったためと言われています。

伊東は世尊寺の敷地選定にも携わっています。世尊寺に関する伊東の活動は、伊東の設計活動の中での位置付けだけでなく、当時の岡崎の都市計画という点からも興味深いテーマです。一九二八年の東公園開園からもう少しで百周年。この機会に、身近な公園の歴史を深掘りしてみたいかがでしょうか。

6

## NEW FACE

加藤 恭典

四月から美術博物館に配属になりました加藤です。よろしくお願ひします。私は事務職で、美術博物館での勤務は初めてとなります。日々、展覧会が行われている職場なんて、市役所の部署の中でもそうはありません。「アート思考」という発想法が注目されている中で、「自然豊かな中央総合公園の中で身近に歴史やアートを感ぜられる」、物事の見方、発想も変わるかもしれないと楽しみにしていました。残念ながら、当館は、施設改修のため、九月二十四日から休館となってしまいました。四月から休館となつてしまいましたが、今後も、より長く、快適に市民の方に利用していただくため改修です。きつと、これまで以上に多くの方に足を運んで頂ける場所になると思っていますので、それまで皆さんと一緒に待ちたいと思います。

白井 洋平

今年度の四月より美術博物館に異動してきました。白井洋平と申します。管理係で事務を担当しております。美術博物館での勤務の前は、上下水道局に在籍しておりました。職場環境は大きく変わりましたが、日々の仕事の中で慣れていこうと思っております。

美術博物館の展示物を見ることが、今まで美術品や絵画を見ることとがなかったのですが、どの作品もとても興味があります。実際に作品や歴史的資料

料を見ることが、時間や空間を超えて実感できる素晴らしい経験をいただけると思っております。今後ともいっそうのご愛顧のほどお願ひ申し上げます。



鈴木 由香里

四月の人事異動で、美術博物館に配属されました鈴木由香里と申します。

美術にも、博物館にも興味がなかったため、美術博物館には十八年前に一度だけ展示を見に来たことがあるだけでした。その時は素敵な建物だなくらいの印象でした。その素敵な建物は開館二十八年を迎え見えないところにガタがきているとのこと。配属して半年、七月十三日〜九月二十三日の「QuizzKnockと巡る江戸・東京博物館展」をもって残念ですが休館。二年弱もかけて建物が素敵にリニューアルされるかと思いきや、あくまでも改修。見た目の大きなリニューアルはありませんが、今回の大規模工事は、美術博物館にとって大事な文化財である収蔵品を守り、令和八年度からの三十周年記念としての企画が快適な美術博物館でオープンできるようにお手伝いさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



# ～ 美博休館のお知らせ～

2024.9.24～2026.6(予定)



美博はまた休館します…。しかも2年弱もです…。  
ただど言い訳させてください！美博ができてまもなく30年。メンテナンスが必要な年頃なのです。ご近所さんをも、名古屋市博物館さんや愛知県陶磁美術館さんが現在工事休館中ですし、豊橋市美術博物館さんもこの間までお休みでした。また、愛知県内だけでなく、全国的にも美術館・博物館たちがお医者さんにかかっているのです。そんなわけで、美博はお休みをいただきますが、ちょっと待って！館内でできなければお外でやればいいじゃない。ということで、お外でのイベントも企画中です。  
みなさんお楽しみに～！

## SHOP INFORMATION



夏本番！ガラスの季節がやってきました。  
今年もリサイクルガラスを再利用したガラス工芸品を制作している「岡崎ガラス工房葵」の3人のガラス工芸作家による作品展「うつわのかたち」を開催いたします。6回目となります今回は、7月13日(土)～7月28日(日)の日程となります。「日常使い」をテーマに、一見美しいオブジェながら実用性もしっかりと兼ね備えた使いやすいデザインやサイズ感の食器や花器などが数多く並びます。キラキラと輝く涼し気なガラスのうつわたちが暑い夏に涼をもたらしませう。  
ぜひ、この機会に店内を彩る美しいガラス作品に触れ、涼を感じにいらして下さい。

営業時間 10:00 - 17:00  
定休日 月曜日(祝日の場合は営業。翌火曜日が振替定休日となります)  
TEL 0564-83-5952 FAX 0564-83-5953  
MAIL yagura@b-soup.com  
HP https://b-soup.com/shop/yagura



## YOUR TABLE

岡崎市美術館併設のカフェレストラン『YOUR TABLE』。ガラス張りの店内には太陽の光がいっぱい入り、お洒落で開放的な空間が広がります。ランチ時には景色を愉しみながらお食事をすることができます。  
カフェタイムにはケーキセットや軽食などを販売中。  
※9月30日(月)～休業いたします。

営業時間 11:00～21:30 土日祝 10:00～21:30  
定休日 月曜日(祝日の場合は営業。翌火曜日が振替定休日となります)  
LUNCH 11:00 - (L.O.14:00) T E A 14:30 - 17:00 (L.O.16:00)  
DINNER 18:00 - 21:30 (L.O.20:30)  
TEL 0564-28-0141 H P https://your-table.owst.jp



開館時間 午前10時～午後5時  
※最終の入場は閉館時間の30分前まで

休館日 月曜日(祝日に該当する場合は、その翌日以後休日でない日)  
年末年始 ※展示替えのため臨時休館する事があります。

H P https://www.city.okazaki.lg.jp/museum



〔岡崎市美術館ニュース/アルカディア〕 第99号 2024年7月発行  
編集・発行 岡崎市美術館  
〒444-0002 愛知県岡崎市高隆寺町1番地 岡崎中央総合公園内  
TEL 0564-28-5000(代表)